

データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

データサイエンス経営学部は、データサイエンスと経営学を総合的に学び、データから価値のある情報を抽出するデータサイエンス力、経営学的視点から課題とその解決策を見つけ出すマネジメント力、データサイエンスと経営学の知識とスキルを、課題解決や意思決定、価値創出に活用できる社会実装力の3つの力を有する次世代人材を育成します。また、「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、データサイエンス力、マネジメント力、社会実装力を身に付けた学生に「学士（経営情報学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を上げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>データサイエンス力、マネジメント力、社会実装力を育成するための3つの分野からなるカリキュラムを提供しています。数理・データサイエンス科目では、数学・統計学・情報学などを学ぶとともに、機械学習やAIを活用してデータから価値ある情報を抽出する力を養います。経営学科科目では、組織などの構造を理解し、経営学的な視点で課題と解決策を見つけ出す力を養います。総合・社会実装科目では、データサイエンスと経営学の知識と技術を活用して社会に実装する力を養います。カリキュラムは基礎的な内容から専門的な内容へ段階的に学修できるように構成されています。</p>	<p>多様化・複雑化した課題を、データを基にして科学的に分析するための、データサイエンスに関する主要な知識と論点を理解することが必要です。また、多様な組織において経営学的視点から課題を見つけ出し、状況に適した柔軟なマネジメントを行うための、経営学に関する主要な知識と論点を理解することが必要です。また、組織の中でデータサイエンス及び経営学の複眼的な視野を持って、多様な価値観を持つ人と協働して課題を解決するためのコミュニケーション能力が不可欠です。さらに、経営課題やそれに関連するデータを体系的に整理し論理的に思考する力、課題解決に向けて主体的に行動できる力が必要です。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

データサイエンス経営学科では、体系的な知識と文系的な知識の両方が必要です。高等学校の教科・科目の学習を通して、文系・理系双方の基礎知識をバランスよく身に付けてください。論理的な考え方が重要なので、物事を体系的に整理し、矛盾や飛躍のない筋道を立てた考え方ができるように心がけてください。経済、経営、データ分析、情報技術などの話題について、教科学習や日常生活の中から関心を向けてください。また、課外活動などを通じて、多様な価値観を持つ人と協働する力を身に付けるために、積極的に自分の考えを人に伝えるようにしてください。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

- (1) 求める学生像
- ① 高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、文理の基礎知識をバランスよく身に付けてきた人
 - ② 物事を論理的に考えることができる人
 - ③ 多様な人々・組織と協働して、これからの世界や日本、地域社会の創造（創生）に貢献するために、自分の考えを表現し他者に伝えることができる人
 - ④ 情報システムを活かした企業経営や起業に意欲がある人
 - ⑤ 企業、組織活動、組織経営について数理的に分析することに関心がある人
 - ⑥ データ分析、プログラミング、情報ネットワーク等に関心がある人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類（調査書）を総合して選抜を行います。基礎学力、思考力を中心に評価します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等（面接）の結果、並びに出願書類（調査書）を総合して選抜を行います。基礎学力、コミュニケーション能力、データサイエンス・経営学に対する興味関心を中心に評価します。
総合型選抜 A (一般)	大学入学共通テスト、論述試験、面接及び出願書類により選考を行います。基礎学力、論理的思考力、データサイエンス・経営学に対する興味関心を中心に評価します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性等			
一般選抜 前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆					
	個別学力検査	☆☆☆	☆☆☆	☆☆			
	出願書類（調査書）				○		
一般選抜 後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆					
	面接		☆☆	☆☆☆		☆☆☆	
	出願書類（調査書）				○		
総合型選抜 A（一般）	大学入学共通テスト※1	☆☆☆					
	面接		☆☆	☆☆☆		☆☆☆	
	論述試験	☆	☆☆☆	☆☆		☆☆☆	
	出願書類（調査書）				○		

※1 総合型選抜で課す大学入学共通テストの教科は、国語、数学及び外国語の3教科のみです。

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの